

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
131冊(117人) 7/19 現在
文責 校長 宮脇 真一

先週金曜日は、多くのみなさんに子どもたちのこの3ヶ月の成長を見ていただく機会となりました。感染症対策のため、窮屈な参観となりましたが、多くの皆さんに無言参観に御協力いただいたことに感謝申し上げます。

明日から夏休み。子どもたちの活動の場が家庭に移ります。どうか、安全で安心な毎日となりますように。



全校集会：1・3・5年は体育館、
他の学年はオンラインで参加
(令和4年7月20日撮影)

～全校集会～ 自信をつける夏休みに

本日の全校集会では、学校教育目標「自分に自信と夢を」の「自信」について話しました。

学校内で挨拶をする子どもたちが増えてきたことを、とても嬉しく思います。私は、5月の連休明けに、大津小の全ての先生たちに対して、子どもたちにどんどん挨拶の声かけをしていくことをお願いしました。それに伴って、皆さんからの挨拶の声もどんどん広がってきています。

さて、今日は学校教育目標の中にある「自信」について話します。みなさんは、どんなときに「自信」をもつことができますか。心の中で考えてみましょう。何かうまくいったとき、じょうずにできたとき、得意なことがあったときに「自信」がつくことでしょうか。その中には、すぐにできることもあるかもしれませんが。逆に、ものすごく準備や努力をしたときにつく「自信」もあるかもしれません。

私のことを話します。私は大学生の時、野球をしていました。決してじょうずではありませんでしたが、一年生の時に試合に出る機会がありました。しかし「自信」がなくてその時とても緊張し、全く何もできずに三振しました。とても悔しかった。なんとかかしたいと思った。そこで、「自分がヒットを打つ姿をイメージする」「一日10回バットを振る」ことを7ヶ月続けました。イメージするだけではうまくならないかもしれません。しかし、状況に慣れたいと思いました。10回ではあまりうまくならないかもしれません。でも、三日坊主の私には、初めから100回とかは無理。「自分にできること」から取り組みました。そして「続けてできること」にするために、カレンダーに印を付けることにしました。

長く続くような簡単なことから始めて、それを必ず毎日続けること。やったかどうかを見えるように振り返ることが「自信」につながります。7ヶ月後の打席ではようやく成果が出ました。

明日から夏休みです。校長先生に「自信」がつくためにやってみたことをお土産として話してくださいね。高学年は自学に書いてみてもいいでしょう。楽しい夏休みにしましょう。そして、「自信」をつける夏休みにしましょう。

うれしいお知らせ2：～全国へ～

15日(金)、今度は3年生の永野 由佳さん、坂本 優花さんから「第42回全日本バレーボール小学生大会(主催：公益財団法人日本バレーボール協会他)に熊本県代表として出場する」といううれしい報告がありました。大会は8月9日から、東京体育館他東京周辺の6会場で行われます。永野さんはベンチ入りメンバーとして会場へ、坂本さんは今回は応援とのこと。熊本の代表としての参加です。元気いっぱい頑張ってください。応援しています。

